



協働型地域おこし協力隊
かわいしほ
河合志穂さん

着任：令和4年4月(1年目)
出身：東京都中央区

—これまでの経歴について教えてください。

大学を卒業後、カゴメ株式会社に入社しました。大阪支店に配属になり、営業や商品開発などを約7年半経験しました。退職後に沖縄へ移住し、製塩事業や塩の専門店事業を行っている株式会社パラダイスラインに転職しました。物流網の整備や商品開発を担当したほか、スタッフ教育の一環で塩の専門知識を習得するための社内資格のソルトソムリエ制度を立ち上げました。

—町ではどのような活動をしていますか？

町内のオープントウン厚真一般社団法人で働いています。私は、フォーラムビレッジにある移築・再生した古民家を宿泊施設として活用する民泊事業の運営を担当しています。古民家を軸に厚真町に人が来る流れを作るための情報発信も行っています。

—所属先はどのような会社ですか？

古民家を活用した関係人口の創出事業を行っています。古民家での民泊事業のほか、レストランの開業も予定しています。町を訪れた人たちに気軽に立ち寄ってもらえる場所を提供したいと考えています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは？

夫が、厚真町で事業創出に挑戦することになり、一緒に移住することを決めました。夫の仕事を近くで応援しながら、自分も何か新しいことに挑戦したいと思ったことがきっかけです。

—厚真町の印象を教えてください。

冬の厳しい寒さは覚悟していましたが、想定以上の寒さで驚きました。でも暖房設備が整っていて快適に生活ができています。皆さんとても親切で、困ったときに相談にのってくれるので助かっています。

—今後の目標は？

古民家の民泊事業を軌道に乗せて雇用を生み出したり、町内の企業同士で協力し、関係人口の創出に向けて取り組んでいきたいです。ハスカップが好きなので、過去の経験を活かして、ハスカップと塩、お米を使った新たな特産品の商品開発にも挑戦します。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈1月末現在〉

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
起業型▷6人 協働型▷14人



地域活性化企業人
おおや じん
大矢 仁さん

着任：令和2年12月(3年目)
出身：東京都足立区

—これまでの経歴について教えてください。

愛媛大学大学院を卒業後、教授の紹介で東京都に本社のある株式会社森のエネルギー研究所に入社しました。4年間、森林の木材資源の活用促進事業や森林調査事業を担当してきました。以前から憧れがあり、いつか住みたいと思っていた北海道に営業所ができることになったタイミングで副所長に就任し、札幌市へ移住しました。

—所属先はどのような会社ですか？

森林資源を軸にして、地域づくりのコンサルティングがメインの会社です。森林の木をどのような形で燃料として活用できるか、森林環境を維持しながらどの程度エネルギーとして使用できるかを調査しています。森林管理計画の策定や二酸化炭素吸収量の試算なども行っています。

—厚真町ではどのような活動をしていますか？

胆振東部地震の影響で崩れた森林の状況を調査しています。地理情報システムのソフトを使用して、ドローンで撮影した画像や衛星画像を地図上に重ね合わせて、地震によって崩落した森林や道路、残った木材の量などを記載した資料を作成しています。これらの調査結果は、震災復興計画に活用されます。

—なぜ森林に興味を持ち始めたのですか？

大学院を探しているときに、人間が生きていくうえで必要な水や空気を作り出す森林について何も知らないことに気づき、勉強してみたいと思うようになりました。

—厚真町の印象を教えてください。

新しいことに積極的に取り組む町という印象です。例えば、今回の森林調査のために新たにドローンの機材を導入したこともその一つと言えます。良いもの、良いことを取り入れる姿勢がすごいと思います。

—今後の目標は？

現在手掛けている森林の被災状況調査をしっかりと完結させることが第一の目標です。ドローンなどを活用したスマート林業といわれる分野に必要な設備を取り入れることで作業負担を軽減し、効率的かつ安全に調査できる環境づくりを提案できるようにしたいです。